

# 年金者組合三八支部ニュース

第255号 2012年11月20日  
発行責任者 高橋 靖昌 (三八支部委員長)  
TEL 0178 (43) 8249  
〒039-1166 八戸市根城7-7-19

## 年金を削減した民自公維新に鉄槌を！

12月16日の投票を重視しよう 高橋委員長の訴え

多くの国民の声を無視し、民自公は消費税の増税を決めました。そして、今回は維新を加えて、年金の削減を強行可決しました。「若者のため」の年金削減であるかのように論じていますが、違います。年金削減は、若い世代の将来の受給額を減らすだけでなく、低年金の親を支える現在の子の世代をも直撃します。政府は高齢者と若者の対立をあおっているにすぎないのです。これに騙されてはいけません。

老齢年金受給者の4割が年収100万円以下です。それを承知で消費税を増額し、年金を削減することは高齢者の首を絞め、見捨てることとなります。

政府は70歳～74歳の高齢者の医療費窓口負担を来年4月から2割(現行1割)に引き上げを画策しています。

民自公の《談合政治》をもう許すことはできません。12月16日の総選挙の投票で私たちの要求実現のために奮闘する勢力・政党の勝利のために、今こそ力を発揮しましょう。

(年金者組合三八支部執行委員長 高橋 靖昌)



年金者組合三八支部の秋のレクが10月24日に行われた。今年は久慈市待浜のきのこ屋での宴会がメインとなったレクだった。今回のレク担当の広瀬、阿部、佐藤の3執行委員の綿密な準備と取組のおかげで、車内レクと宴会が大変盛り上がり、参加した26人は、きのこ屋到着後は、自由に周

楽しみ100%の秋のレク、絶景、温泉、宴  
26人がゆつくり湯につかり、たつぷりの歌と踊り

りを散策したり、太平洋を眺めながらゆつくりと温泉を楽しんだ。昼食時は、豪華なお膳を頂きながら、参加者の芸を堪能した。母良田さんの情感たつぷりな歌と小倉さんの凝った衣装での踊りは喝采を浴びた。楽しみ七分どころか十分の笑顔いっぱい秋レクであった。



2012/10/24

## 全ての組合員の方に依頼した仲間増やしを 第1回支部委員会、和やかに重い議題を論議

第1回支部委員会が11月13日、長者公民館で開かれ、組織の強化・拡大について意見を交換した。

佐藤副委員長が、中央で作成した「活動の手引き」使用し、拡大活動の指針を提案した。



庭の見事な紅葉を眺めながら、熱心に討論する支部委員の皆さん

顔の見える活動をしないうと組織が広まらない。  
・もつとレク活動を広めて楽しみを増やす活動が必要だ。  
・うたごえ活動に力を入れたい。仲間の輪が大きく広まる地盤が出来ている。  
・介護保険制度を活用するために、再度、学習会を開いてほしい。  
・活動の柱に年金相談活動を位置づける必要がある。  
・執行部の強固な方針とやりきる団結が拡大を支えてきた歴史に学ぶべきである。  
委員会では、12月14日開催予定の「第1回新組合員のつどい」の成功と12名の新しい仲間の拡大を確認し終了した。

11月、12月は秋の仲間づくり月間  
225名の目標達成まであと13名です

## 聞いてよ

しつぺ返し？  
菊池 高晴

今年、スズメバチの被害があちこちで聞かれた。特に、キイロスズメバチの被害が多い。友人も農作業中に刺された。私の場合は、里山の畑のミニトマトが食いちぎられたり、栗の実を食われたりしている。このハチは、本来は里山にいて、人間とはめつたに会うことはなかったが、里山が開発され畑が作られたり家が建てられたりしたことで、ハチ合わせすることが多くなったと言われている。人間の自然開発が原因のようである。

無害化処理技術が全く未確立の原発や核燃料サイクル事業はどうだろうか？

核廃棄物には放射性ヨウ素や放射性セシウム・放射性ストロンチウムが含まれている。半減期は、それぞれ8日・30年・28年であり、自然に無害化するまでには気が遠くなるような時間が必要である。特に、放射性ヨウ素は半減期は短い飛散しやすく、環境汚染では特に問題視されている。これだけでも自然破壊も甚だしい、と言わざるを得ない。

現在、核廃棄物の最終処分地が決められないまま、中間貯蔵と言つて六ヶ所核廃棄物がどんどん溜められていく。万が一、貯蔵中に爆発でもしたらどうなるだろう？自然豊かな青森県は一瞬にして放射能で汚染され、人の住めない不毛の土地となつてしまう。

原発や核燃料サイクルは、正に自然の摂理を無視・破壊するもので、人間の安心安全な生活とは全く相容れないものである。福島事故は、東電・政府に責任があることは当然だが、人間のおごりに対するしつぺ返し・警告でもある。私は考えている。